

越冬するタテハ

長生きで素早くて
枯葉色の羽の裏

数回羽ばたいて見せた後
真っ直ぐにしっかりと
高く舞い上がる空から
再び降りたった

まだ花のない枯れたところ
蜜でない水を吸って
スッと開くいたんだ羽
それでも鮮やかだ

よく見ると顔のそば
畳んだ足が毛に包まれて

まるで人の手と同じように
ただの足ではなくて
器用に生きてる証が
ただものでないこと知る

秋の終わりも最後まで
春まだ浅いこの頃から
スッと開くいたんだ羽
それでもしっかりと